

8.農業振興活動

★労働力不足解消に向けた、 援農隊の活動★

JA都城が平成30年4月から始めた農家の労力支援事業「援農隊」が施設キュウリなど園芸作物の収穫を中心に活躍しています。この「援農隊」とはJAが無料職業紹介所として関係機関・団体（県・市町・NOSAI）の協力を受けながら労働力を求める農家と農業に興味を持つ人「援農隊」をつなぐ事業です。農家自ら働き手を探す手間が省け、「援農隊」にとっても希望する日時に働くことが出来る点など大変好評を得ています。JA都城では今後も援農隊の活動を普及・拡大させ地域農業の振興につなげていきます。



〈援農隊〉

★JA都城青年部農業体験教室開催★

青年部は4月～11月に稲作・芋の栽培などの農業体験教室を行いました。

山之口支部は5月18日、都城市立山之口小学校5年生40人を対象とした稲作体験教室を開催しました。体験教室は子どもたちに種まきから育苗、田植え、稲刈りまでの米生産全ての過程を体験してもらうことで、米づくりの楽しさ・喜びを知ってもらうことを目的に同支部が毎年開催しています。



〈食農教育を通じた農業体験教室〉

★ぼんちアグリスクール★

4月11日、受講者に植え付けから収穫までの農業実習や座学等を通じて、知識と技術を学び、農業の楽しさ・喜びを感じてもらうことを目的とした農業講座「ぼんちアグリスクール」を開講しました。約半年間、全12回の座学や実習、農家研修等の講座を通して、農業の基礎知識の習得を目指します。

同スクールは、2001年からJAが主催となって、関係機関と連携して活動を実施しており、これまでに約360人が受講しています。



〈ぼんちアグリスクール〉